

令和6年度 第2回学校運営協議会 報告

- 1 会議 令和6年11月27日(水) 14:00~15:30
- 2 出席者 会長、委員4名、校長、事務局3名 計9名(委員1名欠席)
- 3 次第

- 1 会長挨拶

本日の議事が円滑に進むよう、みなさまのご協力をお願い申し上げます。

- 2 校長挨拶

生徒たちは現在、2学期末や学年末に向けて懸命に取り組んでいます。教員も若い先生を中心に、生徒が学校外とつながる経験を増やす取り組みを進めております。その中で、生徒が成功体験を積み、「自分にもできることがある」という感覚を持たせてあげることが、私たちの使命です。この経験は、社会に出た際に必ず役立つと信じています。つきましては、外部からの視点でご助言をいただければ幸いです。

- 3 協議

- (1) 本年度学校経営計画の進捗について

進捗状況の報告と今後の課題について共有しました。

- (2) 学校の取組について

○各分掌・学年より

- ・教務

全学年において観点別評価が実施。「主体的に学習に取り組む態度」の評価に課題がある。

デジタル採点システム「百問繚乱」の導入。定期考査での使用。今年度の入学者選抜での使用予定。

- ・生徒

生徒主体の運営を進める中で、教員とのバランスを保ち、生徒の自主性を育成。

- ・進路指導

「第一志望をあきらめない」のスローガンに、3年生が目標達成に向けて努力。探究をテーマにした総合型選抜が増加傾向。

- ・保健

健診・講演を予定通り実施。

- ・人権教育推進委員会

今年度の鑑賞行事では芸術鑑賞の要素をうすめ、人権テーマに重点を置いた講演を実施。

- ・各学年

1年生：コロナ禍での中学校生活が影響し、人間関係作りに苦労。

2年生：「舞台北千里」を標語に、協働の中で自身の役割を発見する学年運営を実施。

3年生：入試を目前に控えた生徒たちは、「アンテナとバランスそしてコミット」を掲げ努力中。

○国際交流事業について

オーストラリア語学研修の実施。教員は付き添わない。事前事後学習は学校で。
昨年度は永春高校とはオンラインでのやりとりをしていたが、今年度より訪問来校が復活する。

○総合的な探究の時間について

2月6日にSDGsをテーマに1・2年生合同発表会を開催し、代表班を選定。
2月13日に代表発表会を実施予定。
3年生は地域連携や企業との合同探究活動を進行中。

○制服改定

制服検討委員会を立ち上げ、生徒主導で業者と調整し、完成させた。

○その他

学校教育自己診断について（質問項目の確認）

(3) 質疑・意見交換および提言

- SDGs 探究発表会に、地域の方々を招くことは可能か
合同探究を行った業者の方や保護者にも来てもらうので、地域の方々の参加も一定数であれば可能。
- 探究活動の入試への影響
探究型入試が増加傾向。発表の機会が受験において重要な役割を果たす。
- 社会とのつながりを感じる体験の重要性
生徒が社会を実感できる活動は、受験勉強や将来にも役立つ。
- 学校経営計画の「教員同士がICTによって繋がる。」とはどういうことか
ICT 研修を通じて教員同士の連携を強化。
- 不登校やいじめの問題はありますか？
教育相談担当や支援委員で原因分析と支援策を検討しているが、不登校生徒が増加していることが今後の課題。

(4) その他

次回会議は2月中下旬に開催予定。詳細は追って連絡。